

RED CLAY COURT

世界のテニスを堪能できる
レッドクレイコート、
ついに登場



RED CLAY COURT

世界のテニスコート事情

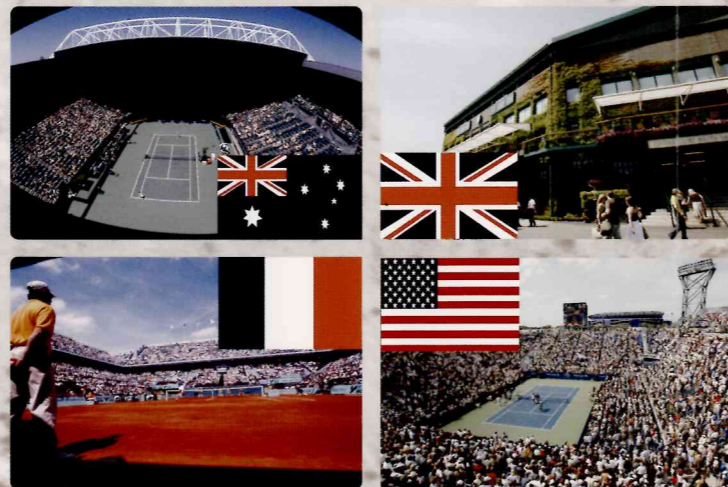
ナショナルトレーニングセンター(NTC)の屋内コートに完成したのが、全仏オープン会場であるローランギャロスと同じレッドクレイのサーフェス。それは「強化のためには必要不可欠」との要望に応えたものでした。

テニス人口が1000万人を越す日本。しかしながら世界のテニスシーンで日本選手の活躍を目にするにはまだです。日本にはプレイ人口の割に世界で活躍するスター選手が育っていないという現実があります。

全豪、全仏、全英、全米オープンテニスは4大大会(グランドスラム)と呼ばれ、世界の最高峰に位置する大会です。これらの大会はそれぞれサーフェスが異なり、全豪(ハードコート)、全仏(レッドクレイコート)、全英(天然芝コート)、全米(ハードコート)となっています。その4大大会で近年特に注目を集めているのがクレイコート育ちの選手たちです。

バウンドが高く弾み、球速もそれほど早くならないクレイコートはラリーの回数が多くなります。そこでプレイすると、体力が付き、技術が高まり、戦略的なテニスが身に付いていきます。これが子どもの頃からクレイコートで育った選手たちが世界を席巻している最大の理由です。

いっぽう日本では身体に優しく、維持管理が容易なサーフェスとの理由から砂入り人工芝が普及しています。しかし、残念ながらこのサーフェスは海外で開催される主要な国際大会では使用されていません。



日本のクレイコート事情

日本国内でもクレイコートをよく目にします。クレイコートでは自然土の荒木田土や真砂土、その他粘性土が古くから使われてきました。また近年では降雨時の安定性が比較的高い緑色スクリーニングスも使われています。以前はアンツーカコートも多く見られましたが、管理面の難しさから現在では減少しています。

従来のクレイコートは気象や利用によってコートの状態が顕著に変化するため、利用後のメンテナンスや、補修・改修が頻繁に必要となります。したがって最近では砂入り人工芝コートなど全天候型へ改修されるコートが多く見られます。しかしいっぽうで、クレイコートでのプレーの楽しさや、高齢者への負担を考えると、クレイコートはなくてはならない存在でもあります。

日本にもレッドクレイを

こうした状況のなかで、日本のテニス界では「選手を育てるために、レッドクレイは不可欠」という意見が大きくなり、それに応える形で2007年12月、東京都北区に完成したナショナルトレーニングセンター(NTC)の屋内コートに、全仏オープン会場であるローランギャロスと同じレッドクレイコートが整備されました。



NTCにレッドクレイコートができたことにより、日本のトップ選手たちは全仏オープンだけでなく、デビスカップ、フェドカップといった国際大会に備えて練習が行えるようになりました。そしてこれから世界を目指すジュニア選手がレッドクレイを国内で経験できるメリットは計りしれません。

またレッドクレイコートは、国産のアンツーカコートと比較して利用後のメンテナンスが容易なため、維持管理を省力化できるコートです。



「魔物が棲む」といわれているレッドクレイコート

フランスの技術と伝統をそのままに



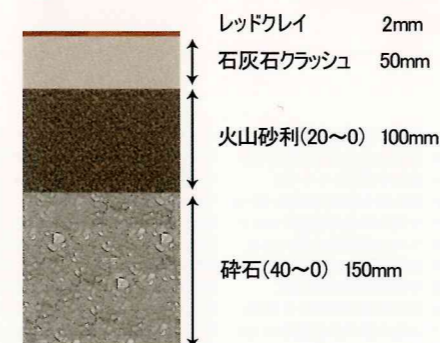
私たち日本体育施設では、世界標準といわれるレッドクレイコートにこだわり、ローランギャロスと同仕様のテニスコートをご提供いたします。フランスの材料を使って、フランスの技術者達が長年培ってきた施工方法を忠実に導入して、レッドクレイコートを作り上げていきます。

そして国内にレッドクレイコートが普及していくことによって、テニス愛好家の方々にも、テニス本来の感覚を味わっていただければと考えております。

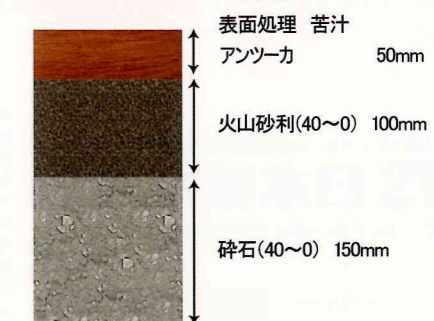
レッドクレイとアンツーカの違い

日本国内でのアンツーカコートは、表層に50ミリのアンツーカを使用するのが標準的でしたが、ローランギャロスのテニスコートでは、フランス産の石灰石クラッシュを表層材として50ミリ敷き、その上に表面材としてレッドクレイを2ミリ散布しています。同じように見える赤土のコートですが、レッドクレイと国産アンツーカとはまったく異なる発想でつくられたコート舗装材なのです。

●レッドクレイコート断面図●



アンツーカコート断面図



レッドクレイコートができるまで



01 材料(石灰石原石)
 バリ郊外にある石炭石採取場。原石を粉砕器に投入して粒径が2ミリ以下のきわめて細かい材料を製造。



02 材料(レッドクレイ)
 良質なレンガを粉砕したフランス産のレッドクレイは粒径が非常に細かく、他に類を見ない均一性の高い材料。



03 石灰石クラッシュ敷均し
 大型重機は使用せず、人の力によって丁寧に材料を敷いていくのが伝統的なフランス式施工方法です。



04 石灰石クラッシュ不陸整正
 高度の平坦性が要求されるテニスコートの施工では、丹念に整地が行われます。



05 レッドクレイ散布状況
 仕上げとしてレッドクレイを散布。転圧、散水、整地を繰り返しながらコートに赤く染め上げていきます。

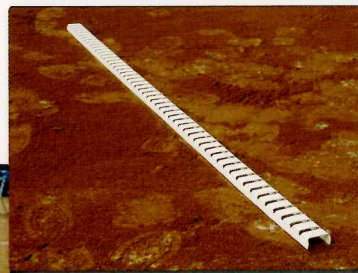


06 仕上げ
 ラインを設置し、転圧とネット引きにより仕上げの作業を行います。



07 コートメンテナンス
 プレイ後のメンテナンスは散水とブラシ掛けだけでOK。ブラッシング後はフレッシュなコートが再生されます。定期的な診断と長期的な保守については、私どもにご相談ください。

ライン材
 NTCでは、フランスでは一般的な設置に釘を使用しない、樹脂製のライン材を採用しました。



レッドクレイ以外のクレイコートでも使用可能で、補修作業の際に再利用が可能なエコ商品です。

日本ではローランギャロスのレッドクレイは日本体育施設がお届けします。

スポーツ・レクリエーション施設の総合建設

NTS 日本体育施設

本社/〒164-0003 東京都中野区東中野3-20-10
 TEL. 03-5337-2611 FAX. 03-5337-2610

- 北海道支店 / 〒063-0006 札幌市西区山の手6条7-2-17 TEL. 011-614-1321 FAX. 011-614-1377
- 東北支店 / 〒982-0034 仙台市太白区西多賀3-8-6 TEL. 022-307-0588 FAX. 022-743-5775
- 福島営業所 / 〒963-8851 郡山市開成2-6-8-101 TEL. 024-921-3020 FAX. 024-921-3022
- 東京支店 / 〒164-0003 東京都中野区東中野3-20-10 TEL. 03-5337-2613 FAX. 03-5337-2610
- 千葉営業所 / 〒263-0051 千葉市稲毛区園生町406-7 TEL. 043-284-2251 FAX. 043-284-2304
- 関東支店 / 〒336-0025 さいたま市南区文蔵2-32-3 TEL. 048-866-2993 FAX. 048-866-2996
- 北関東営業所 / 〒371-0031 前橋市下小出町3-16-1 TEL. 027-232-8075 FAX. 027-232-8081
- 栃木営業所 / 〒321-0933 宇都宮市築瀬町2297 TEL. 028-616-3671 FAX. 028-616-3681
- 四国営業所 / 〒761-8032 高松市鶴市町877-7 C101 TEL. 087-832-9901 FAX. 087-832-9902
- 山口営業所 / 〒756-0811 山陽小野田市稲荷町10-23 TEL. 0836-81-1363 FAX. 0836-81-1364
- 西日本支店 / 〒815-0035 福岡市南区向野2-8-27-107 TEL. 092-554-9301 FAX. 092-554-9300

最新情報はホームページをご覧ください。

[日本体育施設](#)

[検索](#)